

参考様式第1

2022年度 政務活動費支出伝票（一般）

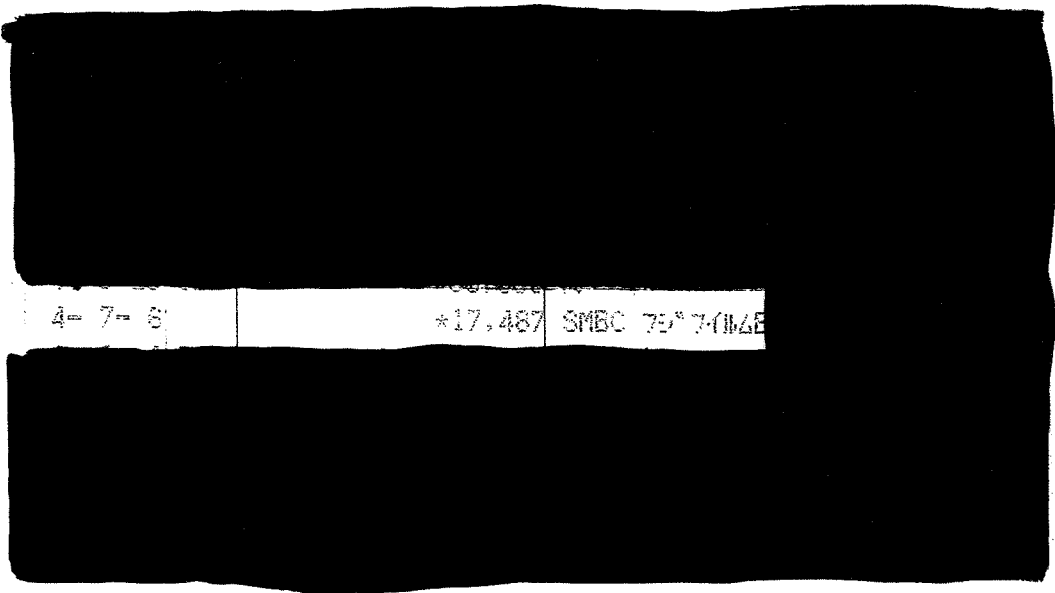
会派名 民主・市民ネット

伝票NO. 39

支出年月日		区 分		
令和 4 年 7 月 6 日		調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・ <b>事務費</b>		
支払先 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社		支 払 金 額 ¥17,487		
摘 要 (品名)	数量	単価	金 額	
コピー使用料 (2022年5月分)			¥17,487	

領収証等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に添付のこと（重ならないように留意）

【領収書貼付欄】



4- 7- 8

\*17.487 SMBC 79" 7-014E

2023年

10月25日付の1.9E7/2023年 様



参考様式第1

2022年度 政務活動費支出伝票（一般）

会派名 民主・市民ネット

伝票NO. 40

支出年月日		区 分		
令和 4 年 7 月 11 日		調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先		支払金額		
honto大日本印刷株式会社		¥4,070		
摘要（品名）	数量	単価	金額	
わたし生活保護を受けられますか	1	1650	¥1,650	
地域新電力 脱炭素で稼ぐまちをつくる方法	1	2420	¥2,420	

領収証等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に添付のこと（重ならないように留意）

【領収書貼付欄】

# Seicomart

まいにちが北海道フェア

セイコーマート函館豊川  
函館市豊川町16番7号  
TEL 0138-26-2700

2022/07/11 10:27 扱者: [REDACTED]

インターネット受付  
領収書 (お客様控え)

領収金額計 4070 様  
(消費税等含む)

上記正に領収いたしました  
お客様氏名 民主・市民ネット 道畑  
克雄様  
095306109062113339

お申込商品代金 4,070円  
手数料(送料等) 0円

合計金額 4,070円  
(内消費税 0円)

[発行者]

■お問い合わせ先

honto

■電話番号

0120-29-1815

■お問い合わせ先受付時間

10:00-18:00

■メールアドレス

cs@honto.jp

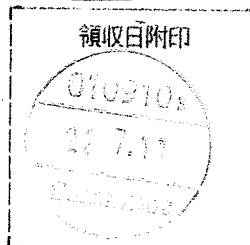
■ホームページ

http://honto.jp/

[取引ID]

[REDACTED]

お支払い内容等に関しては、  
取引先へご確認ください。  
[取引番号] [REDACTED]



代行業務：イーコンテクト(株)  
財布等に挟んで保管頂く場合は、  
印刷面を内側に折り保管して下さい

# 納品書

民主・市民ネット 道畑 様  
注文日: 2022/07/07 注文番号: 3814571377

honto (大日本印刷株式会社)  
〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1  
cs@honto.jp 0120-29-1815 (IP電話からは03-6386-1622)

商品名	商品コード	本体価格	数量	金額
1 わたし生活保護を受けられますか 全国10,000件申請サポ一	978-4-295-40704-1	1,500	1	1,500
2 地域新電力 脱炭素で稼ぐまちをつくる方法	978-4-7615-2820-1	2,200	1	2,200

発行日: 2022/07/08  
出荷番号: 206678804

1/1

総数	2
消費税	370
小計	4,070
送料	0
手数料	0
クーポン使用分	0
ポイント使用分	0
合計金額	4,070

支払期限: 2022/07/26

2022 年度

政務活動費支出伝票 (一般)


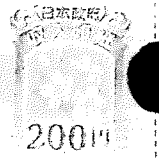



会派名 民生市民ネット

伝票番号 41

支出年月日	区 分		
2022年7月14日	調査研究費・研修費・ <u>広報広聴費</u> ・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 函館市海岸町8-11 有限会社 三和印刷	支払金額 ¥116,974		
摘要 (品名)	数量	単価	金額
市政ニュース(161号)印刷代			¥116,974

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと (重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 証		R No.07457
経理科会派 税金課 若島 孝二 様		
令和 4 年 7 月 14 日		
金額	¥116,974	但 消費税 10% 11,697.4
(内消費税)		
上記の金額正に領収致しました。		
入金種別		係印 
現金	✓	
小切手		
振込		
相殺		
手形	年 月 日	
		
		
有限会社 三和印刷 北海道函館市海岸町8番11号 TEL (0138)45-0845(代) FAX (0138)43-3594		
(注) 金額の訂正及び社印、係印なきものは無効でございます。		



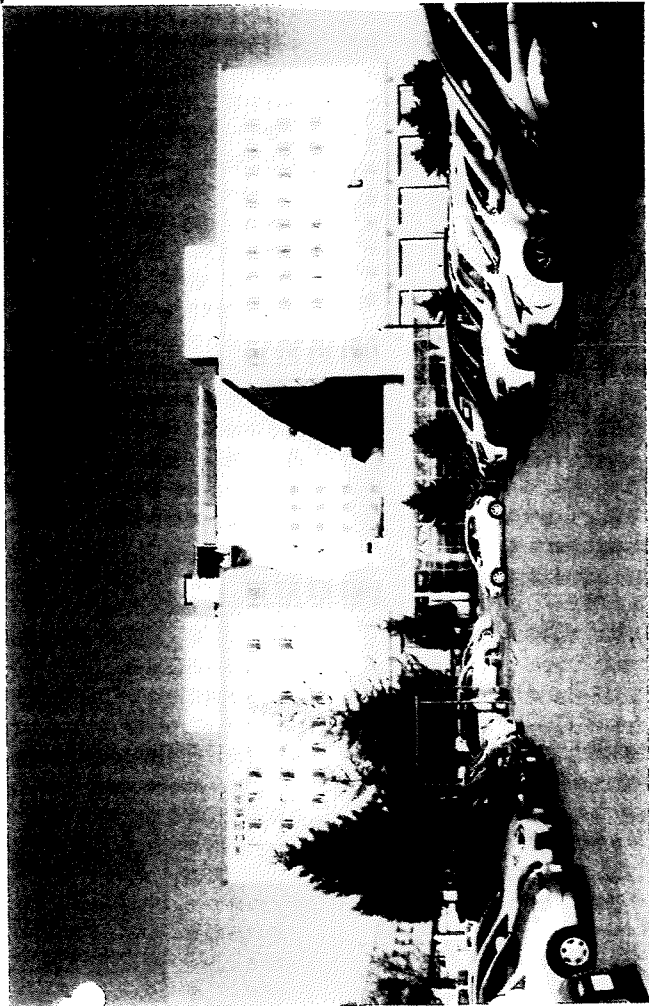
民主・市民ネット 市議会議員

# ふくしま

市民と共に歩む  
市政実現へ

# 恭二

発行 2022年7月25日 No.161 季刊  
発行責任者 福島 恭二



全道2位の「救命救急医療」で高い評価を得た市立函館病院

## 6月議会



## 第2回

## 暑中お見舞い申し上げます

新型コロナウイルス感染症の終息のない中、猛暑が続いています。三番を避けつつ、熱中症に留意され益々のご健康を祈ります。

2022年 盛夏

函館市議会議員 福島 恭二



## 函病道内2位

厚労省21年の救命救急センター充実段階評価  
地域の医療機関と連携、体制維持

(画新より)

公立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として地域医療の確保のため重要な役割を果たしています。現在、コロナ禍の中で特に公立病院の存在と役割が益々求められている所です。今回、改めて職員スタッフ一同力を結集し市民の命と健康を守るため努力している中、昨年に続き高い評価を得たことにも誇りであり、市民としても、信頼が高まるもので引き続き市民の信頼と期待にこたえるよう努力をお願いします。今年、厚生労働省が公表した二

## 市立函病「救命・救急・医療」道内連続2位 地域医療機関と連携維持が高評価 東北・北海道でも四番目の救命率

公立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として地域医療の確保のため重要な役割を果たしています。現在、コロナ禍の中で特に公立病院の存在と役割が益々求められている所です。今回、改めて職員スタッフ一同力を結集し市民の命と健康を守るため努力している中、昨年に続き高い評価を得たことにも誇りであり、市民としても、信頼が高まるもので引き続き市民の信頼と期待にこたえるよう努力をお願いします。今年、厚生労働省が公表した二

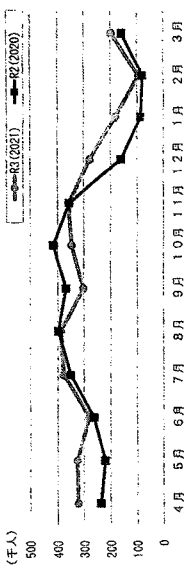
## 来函観光入込客数推計

### 令和3年度来函観光入込客数推計の概要

(1) 来函観光入込客数  
令和3年度に函館市を訪れた観光客は、上期(4月～9月)では約200万人(前年同期比約15万9千人増、8.7%増)、下期(10月～3月)では約146万2千人(前年同期比約20万人増、15.9%増)、合計約346万2千人(前年同期比約36万人増、11.6%増)。交通機関別では、乗用車等が約226万5千人(前年同期比8.5%増)、鉄道が約58万人(前年同期比11.4%増)、航空機が約38万8千人(前年同期比32.8%増)、船舶が約23万人(前年同期比12.8%増)。

(2) 来函外国人宿泊客数  
令和3年度の来函外国人宿泊客数は約1,100人(前年同期比約1,100人減、50.4%減)。

【月別観光入込客数の推移】



北海道・東北エリア三十四病院中で四位、道内十二病院中二年連続で二位の高い評価を受けました。現在のコロナ禍の中、地域の医療機関と連携しながら救命救急医療体制を維持してきたことが、高い

〇二年度の救命救急センター充実の評価で市立病院が評価を得ることになったものです。この評価もあり、議会は令和四年度から函病職員を増員し、コロナ禍の医療の充実を図ることになり、その条例改正案を議決しました。その内訳は、医師九人・薬剤師他十二人・救急救命士一人・感染症やしじなど看護師四十八人、看護学校教師二人の計七十二人です。四年度、条例の定数は二、一〇一人となりました。

## 編集後記

盛夏の候、皆様方には未だ終息をえないコロナ禍のなか、益々ご健勝のことと拝察しお喜びを申し上げます。今年も早くもいつになく猛暑の予想が報道され、同時に電力不足もささやかれ、軒上げと共に市民生活が脅かされています。参議院選挙も終わり、いよいよ来年は我々の改選の年です。これまでを振り返って、私たちの暮らしは良くなったのか、街の活気は戻ったのか、検証しながら進めなければなりません。改めて「市民と共に歩む」市政でなければなりません。市民の所屬の市政を創るため全力を上げる決意です。人口減少を前提せず、抑えず信念が不可欠です。函館市は函館市の発展のため、函館らしさを醸成した街づくりを、市民の「歴史・財産」を守り発展させなければなりません。市政に信念と信頼があつても孤独者は不要です。盛夏の候、熱中症には注意し元気な暮らしを過ごされようお祈りいたしますと共にご支援と理解をお願いします。いし報告といたします。

# 6月議会「物価高対策の補正予算可決 破格の緊急支援対策を提案

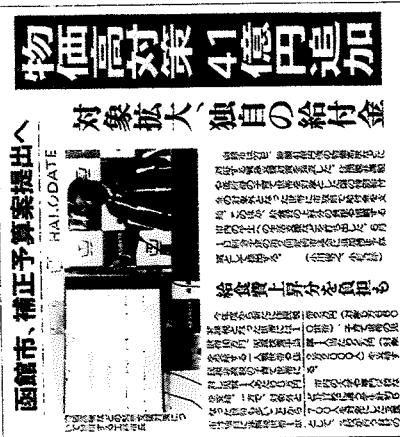
## 公平か、規模業種の区別なく全事業者へ支給

令和四年第二回定例議会は六月一日招集、会期を六月十三日まで十三日間開かれ、昨今の物価高に対する対策費として、四十二億円を含む総額六十億六千万円の破格の補正予算案が提案され審議しました。

その主な内容は、住民税非課税世帯に一世帯十万円、児童扶養手当を受給する一人親世帯や住民非課税の子育て世帯の児童一人当たり五万円、対象外となった世帯も多いことから、市独自に非課税世帯

また、市内大学や専門学校など計十七校に通う学生五、七〇〇人を対象にした支援として各校の食料の提供（食三十円）や日用品の配布などにかかる経費を補助する。さらに、事業規模や業種の区別なく全ての法人、個人に「事業者当たり五万円（対象は約一万二千事業者）」に支給する、とするものです。

議会は、物価高対策の目的であり市民生活の支援となることから、特に議論もなく議決したが、相変



物価高対策41億追加  
対象拡大、独自の給付金  
函館市、補正予算案提出へ

ならず工藤市長の独断によるもので、いくら国の交付金とはいえ市民の税金であり、市の財政調整基金（貯金）から十二億八千万円もの財源を繰入れた対策となったのです。こうした市長の対応は任期満了があと一年となったことから、選挙目当てか、それにしても最近の市長は、金の「バラ

マキ」過ぎであり、市民の税金から捻出していることを自覚すべきである。

議会は六月九日から一般質問を行い、十三名の議員が登壇。福島議員は、函館の死活問題である並

# 福島議員「ライナー存続の約束は守れるのか」と質問 道と対立、双方の認識に「ズレ」協議進まず 「道」某首町を使用者に意向を秘かに市長へ伝える？

私（福島議員）は、当時新幹線着工開業を求め、何度も中央陳情に参画し「着工と開業の正式回答」と同時に、札幌開業時には在来線を継ぎ分

離する一国から回答が示された場に立ち合った唯一の議員として平成二十三年十二月、市長と共に分離に同意しました。その後、道とJRが札幌開業後は「道が主体」となり「三セク」を創り運行する」と「文章で約束した」との表現を求めてきました。

今回もこの「交わった文章」の表現を求め追求したが、市長は何か「道が主体」の問題だとし

行在来線について質問しました。議会は令和四年度一般会計予算を補正六十億六千万円追加し、総額一、四五九億三、六三九万円とすることを承認し議案十件と人事案件を含め議案通り可決した。行動せず、道の動きを見守ってきました。三年前「文章の存在を明らかにし」道と交渉すべきと提案し、市長もようやく確立文章の表現を道に求めたが、道は無回答のまま現在に至りました。

特に今回、昨年決定した「小樽―長万部間」がバス転換に決定した経過を考えると、函館市は、道との約束は、たまたも「反政」にされるのではないかと危機感を持ち対応を求めましたが、相変わらず「北海道が主体を持つべき」として、今後も協議を続けるとの線返りでした。いずれにしても、道と工藤市政との相互不信感があり、対立のままでは解決は困難と言わざるを得ません。このため今、分離問題は道のペースで進み結論が見えて、手遅れ状況に追い込まれています。これを示すように今年三月中旬、某首町が「道の使者」として「秘かに市長と面会」した後、市長は突然「決着まで六年もある」と記者会見で発言し、白らの責任で解決する意思はないような発言に舵を切りました。

# 小樽―長万部間並行在来線「理不尽な廃止」 地域の声を無視、強引にバス転換を決定 道の意図は、長万部―函館間も同様か？

「質問主旨」  
在来線の経営分離、特にライナー存続について、何点か聞きます。

二月議会で質問しましたが、その後の定例記者会見などでの市長の見解を聞くとはほとんど進捗してないようなので再度質問します。

二月議会で、函館から陸路は無くないので、と市民に約束して経営分離に同意しましたが、その気持ちに変わりはありませんかと確認しましたが、声が小さく再度聞いても、聞き取れないほど小

さな声で、答弁でした。市長自ら市民に約束したことなので変わらなないと堂々と答弁するべきではないか。

【質問】  
改めて確認しますが、ライナーを残す気持ちに変わりありませんか。

【市長答弁】  
残すことには変わりはありません。（ふてくされた態度で答弁）

【質問】  
では、ライナーを残すためには何が課題で、解決するには誰が何をやる必要があるのか。協議会の開催だけではなく、具体的な内容について答弁してください。

【答弁】  
現在北海道では、ライナー存続時の費用負担の課題を検討するため、JR北海道から経営分離される函館線（函館―小樽間）に係る将来需要予測、収支予測等調査結果の精査を進めている。

一方、ライナー区間を含む五線区、長万部間は鉄道貨物輸送にとつて重要な路線である

り、JR貨物から第二セクターに支払われる線路使用料は経営上極めて重要な収入源となる。

このため鉄道貨物輸送のあり方によっては、北海道物流などに大きな影響を及ぼすことが想定されます。今後も北海道とは、ほこたてライナーの存続を念頭に協議を進めたいと考えています。

【質問】  
貨物の存続は、ライナー存続と不可分な問題となっているのに、市は何の行動もしないで本当に大丈夫なのか。現在、在来線協議会では、貨物列車の存続問題は協議会の問題ではないとして協議されています。しかし、貨物会社強

自で存続できないため、国交省など中央陳情を始めています。市はこの行動さえも知らないという実態です。改めて、このような状況で「ライナー」が残るのか答弁を求めます。

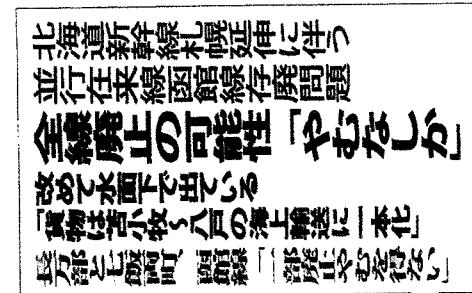
【答弁】  
市としては、平成二十三年（二〇一一年）、経営分離への同意の際に道よりいただいた文章であります「新函館―現函館間の鉄道運行等に関する基本的事項」により、札幌開業後も経営分離前と同等の利便性、サービスを維持するため、アクセス列車の並行は北海道およびJR北海道の両者が支援、協力

すると示されていることを踏まえ、北海道と協議を進めてきた所です。なお、先般、北海道庁の担当局長が副市長と面談した際にも、同文章についても話をしたところです。

【意見】  
念書付した文章は、当時「道とJRが約束した」ものだが、その内容を道も承知し理解しているのかも確認せず、道の反意も示されていません。

一方、道はこれまで、函館市から「ライナー」についての公式な考えも示されていないとして、今年三月中旬に「某首町を使者」として「秘かに市長と面会」し、「ライナー存続は困難」との「道の意向」を伝えに来たと言われています。

これについて確認したところ「ライナーの問題ではない」と否定したが、面会を認めました。いずれにしても道との協議は「ブロック協議会」のみで、他の打合せ協議は実施されていません。一方、渡島ブロックの各町は客車も貨物も不用と意思表示しています。従つて、残るのは函館市だけとなっていることを強く受け止め、市は積極的に行動しなければ「ライナー存続」は困難となる状況にあります。



北海道新幹線札幌延伸に伴う  
並行在来線函館線存続問題  
全線廃止の可能性「やむなしか」  
改めて水面下で出ている  
「貨物列車小牧、八戸の海上輸送に本化」  
長万部と小樽間、函館線「廃止やむなし」

2022 年度

政務活動費支出伝票 (一般)

会派名 民生・市民ネット

伝票番号 42

支出年月日	区 分		
2022年7月15日	調査研究費・研修費・ <u>広報広聴費</u> ・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 東京都千代田区大手町2-3-1 日本郵便株式会社 函館深堀郵便局	支払金額		
	¥33,180		
摘要 (品名)	数量	単価	金額
市政ニュース(161号)送付代			¥33,180

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと (重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

**領収書**

民生ネット  
~~函館市交通労働組合~~ 様  
~~市議会議員 福島 浩二~~  
 [別納引受] 送付先  
 第一種定形 15.0g  
 @84 395通 ¥33,180

---

小計 ¥33,180

---

郵便物引受合計通数 395通  
 課税計 (10%) ¥33,180  
 (内消費税等 ¥3,016)  
 非課税計 ¥0

---

△計 ¥33,180  
 合計  
 お預り金額 ¥33,180



〒100-8792 日本郵便株式会社  
 東京都千代田区大手町2-3-1  
 取扱日時: 2022年7月15日 12:58  
 発行No. 220715A3104 端N18箱01  
 連絡先: 函館深堀郵便局  
 TEL: 0138-54-7216



# 6月議会「物価高対策の補正予算案 破格の緊急支援対策を提案

## 公平か、規模業種の区別なく全事業者へ支給

令和四年第二回定例議会は六月一日招集、会期を六月十三日まで十三日間開かれ、昨今の物価高に対する対策費として、四十二億円を含む総額六十億六千万円の破格の補正予算案が提案され審議されました。

その主な内容は、住民税非課税世帯に一世帯十万円、児童扶養手当を受給する一人親世帯や住民非課税の子育て世帯の児童一人当たり五万円、対象外となった世帯も多いことから、市独自に非課税世帯

また、市内大学や専門学校など計十七校に通う学生五、七〇〇人を対象にした支援として各校の食料の提供（二食三十円）や日用品の配布などにかかる経費を補助する。さらに、事業規模や業種の区別なく全ての法人、個人に「事業者当たり五万円（対象は約一万二千事業者）」に支給する、とするものです。

議会は、物価高対策の目的であり市民生活の支援となることから、特に議論もなく議決したが、相委

わらず工藤市長の独断によるもので、いくら市の税金であり、市の財政調整基金（貯金）から十二億八千万円もの財源を繰入れた対策となったのです。

こうした市長の対応は任期満了があと一年となったことから、選挙目当てか、それにしても最近の市長は、金の「バラ

マキ」過ぎであり、市民の税金から捻出していることを自覚すべきである。

議会は六月九日から一般質問を行い、十三名の議員が登壇。福島議員は、両席の死活問題である並

行在来線について質問しました。議会は令和四年度一般会計予算を補正六十億六千万円追加し、総額一、四五九億三、六三九万円とすることを承認し議案十件と人事案件を含め原案通り可決した。

### 物価高対策 41億追加

対象拡大、独自の給付金

函館市、補正予算案提出へ

給付費上昇分を負担も

（新聞より）

### 福島議員「ライナー存続の約束は守れるのか」と質問 道と対立、双方の認識に「スレ」協議進まず 「道」某首町を使用者に意向を秘かに市長へ伝える？

私（福島議員）は、当時新幹線着工開業を求め、何度も中央陳情に参画し「着工と開業の正式回答」と同時に、札幌開業時には在来線を経営分離する一国から回答が示された場に立ち合った唯一の議員として平成二十三年十二月、市長と共に分離に同意しました。それだけに、道とJRが札幌開業後は「道が主体」となり「三セクを創り運行する」と、「文革で約束した」との裏面を求めてきました。今回もこの「交わした文革」の裏面を求め追求めたが、市長は何か？「道が主体」の問題だとし

て行動せず、道の動きを見守ってきました。三年前「文革の存在を明らかにし」道と交渉すべきと提案し、市長もようやく確認文章の裏面を道に求めたが、道は無回答のまま現在に至りました。特に今回「昨年決定した「小峠一長万部間」がバス転換に決定した経緯を考えると、函館市は、道との約束は、またも「反攻」にされるのではないかと危機感を持ち対応を求めましたが、相変わらず「北海道が主体を持つべき」として、今後も協議を続けるとの態度でした。いずれにしても、道と工藤市政との相互不信感があり、対立のままでは解決は困難と言わざるを得ません。このため今、分離問題は道のペースで進み結論が見えず、手遅れ状況に追い込まれています。これを示すように今年三月中旬、某首町が「道の使者」として「秘かに市長と面会」した後、市長は突然「決着まで未だ八年もある」と記者会見で発言し、自らの責任で解決する意思はないような発言に舵を切りました。

### 小峠一長万部間並行在来線「理不尽な廃止」 地域の声を無視、強引にバス転換を決定 道の意図は、長万部一函館間も同様か？

安心して下さい。と市民に約束して経営分離に同意しましたが、その気持ちに変わりはありませんかと確認しましたが、声が小さく再度聞いても、聞き取れないほど小

さな声で、答弁でした。市長自ら市民に約束したことなので委わらないと堂々と答弁すべきではないか。

改めて確認しますが、ライナーを残す気持ちに変わりありませんか。

残すことには変わりはありません（ふてくされた態度で答弁）

では、ライナーを残すためには何が課題で、解決するには誰が何を必要とするのか。協議会の開催だけではなく、具体的な内容について答弁してください。

現在北海道では、ライナー存続時の費用負担の課題を検討するため、JR北海道から経営分離される函館線（函館・小樽間）に係る将来需要予測、収支予測等調査結

り、JR貨物から第三セクターに支払われる線路使用料は経営上極めて重要な収入源となる。

このため鉄道貨物輸送のあり方によっては、北海道物流などに大きな影響を及ぼすことが想定されます。今後北海道とは、はたしてライナーの存続を念頭に協議を進めたいと考えています。

貨物の存続は、ライナー存続と不可分な問題となっているのに、市は何の行動もしないで本当に大丈夫なのか。現在、在来線協議会では、貨物列車の存続問題は協議会の問題ではないとして協議されていません。しかし、貨物会社独自で存続できないため、国交省など中央陳情を始めています。市はこの行動さえも知らないという実態です。改めて、このような状況で「ライナー」が残るのか答弁を求めます。

市としては、平成二十三年（二〇一一年）、経営分離への同意の際に道よりいただいた文章であります「新函館・現函館間の鉄道運行等に関する基本的事項」により、札幌開業後も経営分離前と同等の利便性、サービスを維持するため、アクセス列車の運行は北海道およびJR北海道の両者が支援、協力

すると示されていることを踏まえ、北海道と協議を進めてきた所です。なお、先般、北海道庁の担当局長が副市長と面談した際にも、同文革についても話をしたところですが、「意見」

今答弁した文革は、当時「道とJRが約束した」ものだが、その内容を道も承知し理解しているのかも確認せず、道の反応も示されていません。

一方、道はこれまで、函館市から「ライナー」についての公式な考えも示されていないとして、今年三月中旬に「某首町を使用者」として「秘かに市長と面会」し、「ライナー存続は困難」との「道の意向」を伝えに来たと言われています。

これについて確認したところ「ライナーの問題ではない」と否定したが、面会を認めました。いずれにしても道との協議は「ブロック協議会」のみで、他の打合せ協議は実施されていません。一方、渡島ブロックの各町は客車も貨物も不用と意思表示しています。従って、残るのは函館市だけとなっていることを重く受け止めて、市は積極的に行動しなければ「ライナー存続」は困難となる状況にあります。

### 北海道新幹線札幌延伸に伴う 並行在来線函館線存続問題 全線廃止の可能性「やむなしか」 改めて水戸で考える 貨物は苫小牧、八戸の海上輸送に一本化 長万部七飯間、函館線「一部廃止も必要か」

参考様式第 1

2022年度 政務活動費支出伝票 (一般)

会派名 民主・市民ネット

伝票NO. 43

支出年月日	区 分		
令和 4 年 7 月 20 日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先	支払金額		
株式会社 中央文化社	¥9,972		
摘要 (品名)	数量	単価	金額
「地方議会人」購読料 令和4年4月~令和5年3月	12	831	¥9,972

領収証等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に添付のこと (重ならないように留意)

【領収書貼付欄】

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0 0 1 2 0 1
支店番号	1 4 1 2 9 3
会社名	株式会社 中央文化社
金額	9 9 7 2
コード	C 719
振込先	民主・市民ネット 道畑 克雄 様
振込元	94250001
振込日	04-07-20
振込場所	函館宝来郵便局
支払方法	現金払
手数料	料金 110円
印	(94049)

請求書

No C 719

令和 年 月 日

民主・市民ネット 道畑 克雄 殿

下記の通り御請求申し上げます

¥9972

株式会社 中央文化社

代表取締役 大塚 昭彦  
東京都千代田区一番町25番地

全国町村議員会館

電話 03(3264)2457 経理

FAX 03(3264)2867

郵便振替

取引銀行

当座番号

口座名

品名	数量	単価	金額
『地方議会人』購読料	12	831	9972
令和4年4月～令和5年3月			
(消費税・送料込)			
			合計¥9972

※ ご購読中止のご連絡がない場合は、従来通りご送付させていただきますので、

中止の場合は、必ずご連絡くださいますよう、お願いいたします。